

## 分子細胞生物学研究所における研究不正に関する追加調査報告

### 追加調査（概要）

#### （1）経緯

科学研究行動規範委員会（以下「規範委員会」という。）が、平成 29 年 8 月 1 日に公表した分子細胞生物学研究所（以下「分生研」という。）渡邊嘉典教授（以下「渡邊教授」という。）を責任著者とする論文 5 報（16 図）について、捏造又は改ざんの不正行為を認定したことを踏まえ、規範委員会は、不正行為を行った者の他の論文に係る不正行為の有無についても検証する必要があると判断し、渡邊教授を責任著者とするその他の論文について、自主的に追加調査を実施した。

#### （2）調査の概要

##### ① 対象研究者

渡邊教授（分生研）

##### ② 調査対象論文

分生研において研究データの一括管理を開始した平成 25 年 2 月以降の渡邊教授を責任著者とする論文 9 報（別表のとおり）

##### ③ 調査期間

平成 29 年 8 月 16 日～平成 29 年 12 月 7 日

##### ④ 調査体制及び調査方法

規範委員会の下に調査委員会を設置（平成 29 年 9 月 13 日）し、収集した資料及び論文関係者から提出を受けた資料を基に、資料の検証、関係者への文書による照会、ヒアリングによる調査を実施し、不正行為の有無を検証した。

##### ⑤ 調査の概要

調査委員会では、論文関係者から提出を受けた資料から、実験が実施されているか否かを確認した。また、提出されたデータを精査するとともに、文書による照会及びヒアリングを行い、論文中に示された実験のオリジナルデータの特定と検証を行った。これらの調査を基に不正行為の有無について検証した。

また、規範委員会及び調査委員会は、不正行為の有無の判定にあたり、文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成 26 年 8 月 26 日）及び本学の科学研究行動規範委員会規則に基づく不正行為の定義を踏まえつつ、8 月 1 日に公表した分生研の不正行為認定の判断基準に照らして、不正行為の有無を判断した。

#### （3）調査の結果

規範委員会は、調査委員会の調査・審議の結果を踏まえ、調査対象の各論文について、規範委員会規則第 2 条に該当する不正行為（捏造又は改ざん）が存在するとは認められないと判断した。

## 追加調査対象論文

	論 文
1	<i>Nat Cell Biol.</i> 16, 145-156 (2014). The TRF1-binding protein TERB1 promotes chromosome movement and telomere rigidity in meiosis.
2	<i>Genes Dev.</i> 28, 594-607 (2014). Meiosis-specific cohesin mediates homolog recognition in mouse spermatocytes.
3	<i>PLoS Genet.</i> 10, e1004821 (2014). The dissection of meiotic chromosome movement in mice using an in vivo electroporation technique.
4	<i>Dev. Cell</i> 32, 220-230 (2015). Phosphorylation of cohesin Rec11/SA3 by casein kinase 1 promotes homologous recombination by assembling the meiotic chromosome axis.
5	<i>Nature</i> 517, 466-471 (2015). Meikin is a conserved regulator of meiosis-I-specific kinetochore function.
6	<i>Nat Cell Biol.</i> 17, 1124-1133 (2015). Mad1 promotes chromosome congression by anchoring a kinesin motor to the kinetochore.
7	<i>Cell</i> 163, 1252-1266 (2015). MAJIN links telomeric DNA to the nuclear membrane by exchanging telomere cap.
8	<i>Curr. Biol.</i> 27, 1005-1012 (2017). Pds5 regulates sister chromatid cohesion and chromosome bi-orientation through a conserved protein interaction module.
9	<i>Genes Cells.</i> 22, 552-567 (2017). Meikin-associated polo-like kinase specifies Bub1 distribution in meiosis I.